

こたえ さるかに合戦^{がっせん}さるかに合戦^{がっせん}

(日本のむかし話)

かにが、おにぎりをもって歩いていると、さるがかきのたねをもつてやってきました。

「このたねとおにぎりを、とりかえっこしよう。」

かにはたねをうけとって、にわにまきました。毎日水をやると、やがて大きな木になり、かきの実^みがたくさんになりました。ところが、さるは木にのぼると、あまい実^みを自分だけで食べ、かには青くてかたい実^みをなげつけました。

かにがこまっていると、くり、はち、うす、牛のふんが、かにをたすけにきてくれました。

① かには、何をもって歩いていましたか。

お
に
ぎり

② かには、さるとおにぎりを何ととりかえましたか。

かきの

た
ね

③ 木にのぼったさるは、どうしましたか。

ア かには、あまい実^みをあげた。

イ あまい実^みを、自分だけで食べた。

ウ かにを、木の上にのせた。

④ かにをたすけにきたなかに、入っていないものはどれですか。

ア くり

イ はち

ウ からす